

第 5 2 4 回（3 月定例）福崎町議会

福崎町長 尾 崎 吉 晴

皆様おはようございます。

本日、第 524 回福崎町議会定例会を招集いたしましたところ、全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。令和 8 年 3 月議会の開会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

3 月に入り、梅の花が見頃を迎えつつあります。春がすぐそこに近づいてきた感がありますが、三寒四温の季節でもあります。季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますので気を付けていただきたいと思います。

つい先日まで、イタリアでミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開催されていました。日本勢は過去最高の 24 個のメダルを獲得し大活躍でした。優秀な成績を収めた選手はもちろんですが、思った成績が残せなかった選手やスタッフなど大会を盛り上げてくれたすべての方々に敬意と感謝を申し上げたいと思います。

また、先月 8 日の衆議院議員総選挙では、政府与党が圧勝という結果になりました。18 日には特別国会が召集され、第 2 次高市内閣が発足しました。今、国会では論戦が繰り広げられていますが、例年の国会と比べますと約 1 か月遅れとなっています。今国会は令和 8 年度の当初予算を審議する大変重要な国会です。物価高対策をはじめ課題は山積していますので、早期の予算成立に向けて与野党ともに知恵を出していただきたいと思います。

福崎町におきましても、今議会は第 7 次行政改革大綱・実施計画を実行に移すための予算を審議していただく重要な議会であります。この大綱・実施計画の中でお示しした収支見通しでは、令和 7 年度は約 1 億円の財政調整基金を繰り入れる見込みでしたが、最終補正では財政調整基金からの繰り入れをしない予算案となりました。大きな要因は、12 月の地方交付税の再算定により、臨時経済対策費や給与改定費として約 1 億 3,000 万円の追加交付があったことによるものです。このようなケースは稀ですので、これからも気を引き締めて持続可能な行財政運営に努めてまいります。

今回提案しています令和 8 年度一般会計予算案は、過去最大の 117 億 100 万円です。この中には、神崎郡 3 町で進めている新ごみ処理施設の建設事業や中播消防署本署の建て替え事業が含まれています。

J R 福崎駅へのアクセス道路の強化として、町道福崎駅田原線、千束新町線の整備を

引き続き進めます。

災害に強い安全・安心のまちづくりとしての公共下水道事業、川すそ雨水幹線工事も継続して取り組みます。

これまでも町の重点事業として進めてきた子育て支援と教育環境の充実については、小・中学校の給食費の無償化に取り組みます。また、中学校体育館の空調設備整備も盛り込んでいます。

また、今年が町制施行 70 周年の記念すべき年です。合併記念日の 5 月 3 日にエルデホールで記念式典を開催しますのでよろしくお願いいたします。

また、大きな課題である行政改革については、現在各自治会で開催していただいている行政懇談会においてテーマの一つとして取り上げています。行政懇談会では、町財政が 3 年連続の赤字で大変厳しい状況にあること、その対策として第 7 次行政改革大綱・実施計画を策定中であること、その中では数値目標を定め、計画期間である令和 8 年度から 12 年度までの 5 年間で歳入を 1 億円の増、歳出の 4 億円削減をめざしていること、④議会と協働で取り組んでいること、そして、この計画は必ず実現する覚悟であることなどを説明し、ご理解をお願いしているところです。

このような財政状況を受けまして、地域手当については人事院勧告では令和 8 年度から本町は 4 % が示されていましたが、2 % のままで据え置きたいと職員組合と協議をさせていただき了承を得たところです。なお、特別職の給与カットも昨年度から引き続き実施することとしています。さらに、令和 8 年度には使用料、手数料の見直しにも取り組みます。

特に、令和 8 年度、9 年度は大きな事業が続きますが、県の自治振興事業貸付金など新たな財源も活用しながら、必要な事業にはしっかりと予算を確保し進めてまいります。

令和 8 年度一般会計の総額 117 億 100 万円は対前年度比 3 億 8,400 万円、率にして 3.4% の増であります。

特別会計を合わせた総額は 190 億 1,280 万円で、対前年度比 8 億 9,070 万 5 千円、率にして 4.9% の増としました。

各課が取り組む主な事業は、次のとおりです。

【総務課】です。

令和 8 年度は、町制施行 70 周年となりますので、各種行事を町制施行 70 周年記念と

し、行政改革を推進する中でも工夫を重ね、盛り上げていきます。

また、友好都市岩手県遠野市とは、遠野市産業まつりや福崎秋まつりにおいて、それぞれの特産物の販売を行うなど、文化、教育、観光の各分野で交流を継続し、友好の絆を深めます。

令和6年1月1日能登半島地震での課題を踏まえ、兵庫県下統一の「被災者生活再建支援システム」の導入を進め、家屋被害認定調査業務、罹災証明書発行業務等の統一化による発災時対応の円滑化を図ります。

庁舎管理では、庁舎電話交換機及び電話機の更新により各課局室直通電話番号の設定、録音機能強化等を進め、町民サービスの向上とともに労働環境の改善を進めます。

また、サルビア会館のバリアフリー化を進めるため、1階の多目的トイレを改修します。

**【企画財政課】**です。

第6次総合計画の実現に向けて各種事業に取り組みます。厳しい財政状況を改善し、行政サービスの向上と持続可能な行財政運営を実現するため、第7次行政改革大綱・実施計画に基づき、新たな行政改革に取り組みます。

また、行政事務の効率化のため、自治体情報システム標準化事業を継続して実施するとともに、職員用パソコン、財務会計システムの更新を行います。

**【税務課】**では、貴重な自主財源である町税において、税目ごとの課税客体の的確な把握と課税に努めます。

あわせて国税徴収法、地方税法、町税条例及び債権管理条例などの規定に基づき、適正な滞納整理、債権管理を行うことにより、徴収率の一層の向上をめざします。また、煩雑な口座振替の手続きを簡素化し、徴収率の向上も期待できるペイジー口座振替受付システムを導入します。

**【地域振興課】**では、1年を通して各種イベントを開催し、地域を元気に盛り上げます。

春の民俗辻広場まつりは、観桜会をあわせて開催します。夏まつりは花火、絵おどりや夜店の出店、秋まつりは商工会によるステージ発表会や文化講演会など、冬はF u k uランタン事業を実施します。

また、反響が大きかった手話ダンス甲子園を引き続き開催し、共生のまちづくりを進

めます。

ふるさと応援寄附金事業では、寄附額の増額を図るためプロジェクトチームによる企画提案を受けながら、更なる自主財源の確保に努めます。

商工業振興では、円安に加えてエネルギー・原材料価格の高騰や労働者不足の中で、DX、インボイス制度の導入など、地域の中小・小規模事業者が抱える経営課題に対応するため、商工会と連携して支援に努めます。

物価高騰対策として令和7年度の繰越予算において、町民1人8,000円の「スマイル商品券」を配布します。利用期間は4月10日から7月31日までとしています。

観光振興では、駅前・辻川観光交流センターを拠点として、辻川山公園の河童・天狗、妖怪ベンチを活用した賑わいづくりに努めます。また、町制施行70周年記念として、式典にあわせてエルデホール周辺で妖怪ベンチ大集合やFUKUSAKI百鬼夜行を開催します。

6月11日を「福崎もちむぎの日」として日本記念日協会に申請・登録し、ブランド力の向上を図ります。もちむぎブランド化事業として、東京都世田谷区や北区に出展し、特産もちむぎを首都圏に売り込み、PR・販路拡大に取り組みます。

**【住民生活課】**です。

福崎町民が安全で安心して暮らせるように、福崎警察署の協力を得ながら、防犯活動を進めます。通学路の安全確保や防犯対策のため、引き続き計画的に防犯カメラを設置します。

交通安全対策では、通学路のカラー塗装など通学路危険箇所の改善に努めるとともに、標識や啓発看板等の設置、凍結防止ミラーを計画的に設置します。

窓口では、住基システム、戸籍システムの標準化に向けての準備を進めていきます。

くれさかクリーンセンターにおいては、引き続き姫路市へごみ処理委託を行います。また、現在整備を進めている神崎郡ごみ処理施設稼働後のくれさかクリーンセンターのあり方について、姫路市との協議を継続して進めていきます。

消防では、非常備消防の団員報酬を国の基準に沿って引き上げるとともに、団員定数や機能別団員、女性消防団員の加入促進など消防団の活性化について検討を進めます。

**【福祉課】**です。

障害福祉系の基幹相談支援センター事業では、引き続き、生きづらさをかかえ引きこもり状態にある人の支援として、大人の居場所づくり事業に取り組みます。

高齢者福祉事業では、第7次行政改革大綱に記載のある長寿祝金事業について77歳到達者に対するお祝い金を廃止します。代替事業として、77歳到達者に対して、インフルエンザワクチン接種料金を無料とします。

介護保険事業では、国の動向を注視し、かつ住民アンケートの結果をいかした第10期ゴールドサルビアプラン（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）を策定します。

【ほけん年金課】です。

町民の健康を守るため、国民健康保険、後期高齢者医療の業務を行うほか、福祉医療費助成制度として、乳幼児から高校生までの人、重度の障がいのある人、ひとり親家庭の人等が安心して医療を受けられるよう、医療費のうち自己負担部分の助成を行います。

こども家庭センター（ふくさきっこステーション）では、概ね中学生までの子どもを対象に、預かり等の相互援助活動を行う「ファミリーサポートセンター事業」を開始します。また、乳児の健康保持及び増進を図る機会を促進するため、1か月児健康診査費用について、1人につき4,000円を上限に助成します。

予防接種事業では、RSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種化されるため、妊娠28週から36週の妊婦を対象に予防接種を実施します。

町ぐるみ健診の受診率向上と若い世代の健康意識の向上のため、引き続き国民健康保険の被保険者、39歳以下及び75歳以上の特定健診・基本健診の負担金を無料とします。

【農林振興課】です。

農地整備事業では、高岡福田ほ場整備事業に加えて、令和7年度に事業採択を受けた山崎地区ほ場整備事業を推進していきます。

ため池整備事業では、町営ため池整備事業である（南大貫）宮の池改修工事の完成をめざすとともに、令和7年度に採択された東田原ため池群地区について、調査設計を実施します。また、県営ため池整備事業では、直谷池について事業を推進していきます。

森林環境譲与税基金活用事業では、引き続き森林の公益的機能の保全や林業振興を目的に、町内民有林において間伐等の森林整備に補助金を交付します。

国土調査事業では、山林の地籍調査を引き続き推進します。

【まちづくり課】です。

道路整備事業では、各集落内の道路改修や通行に支障をきたす危険箇所の解消を進めます。

橋梁整備事業では、橋梁長寿命化修繕計画に基づき1橋の補修設計、3橋の補修工事を実施するとともに、78橋についても点検を実施します。

河川整備事業では、河川美化事業として、県河川である市川、七種川の草刈り等を実施します。

都市計画・まちづくり事業では、引き続き「福崎町都市計画マスタープラン」の改定、また、令和7年度に改定した土地利用基本計画を基に特別指定区域の見直しに取り組みます。

空家対策では、引き続き、空家活用支援事業補助及び特定空家等除去事業補助を活用しながら、総合的かつ計画的に空家対策を実施します。

【上下水道課】です。

水道事業では、3年計画で進めている八反田水管橋耐震補強工事が最終年度となります。また、三ノ宮配水池送配水管更新工事は、第四工区を繰越事業として実施します。

工業用水道事業では、七種川水管橋更新工事が2年目の最終年度となります。工期内の完了をめざし進めていきます。

下水道事業の汚水整備では、引き続き、農業集落排水の公共下水道への統合を進めます。令和8年度は田口地区での工事を予定しています。また、福崎浄化センターにおいて、ストックマネジメント計画に基づく、機械・電気設備の更新工事を実施します。

【出納室】です。

購入から20年が経過した町の大型バスをマイクロバスに更新し、安全、安心な運転管理のもと、町の催しや学校行事等で活用します。

【学校教育課】です。

公立幼稚園では、新たに乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を実施します。

学校施設では、中学校2校の体育館に空調設備設置工事を実施し、令和9年度に計画している小学校2校の体育館空調設備工事の実施設計業務を委託します。

中学校の休日部活動の地域展開について、地域人材による部活動指導員の配置及び地域展開の実証事業に取り組み、地域連携を進めます。

不登校支援員を継続して配置し、不登校児童生徒への対応を強化します。引き続き、学校教育指導員、学習支援員、生活支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を配置し、教育課題の解決に取り組みます。

地域と一体となって子どもたちを育む「学校運営協議会（コミュニティスクール）」の仕組みづくりにより、特色・魅力ある学校づくりに努めます。

給食共同調理センターでは、調理及び配送業務について令和9年度からの新たな委託業者を決定します。

【社会教育課】です。

第47回山桃忌は、エルデホールにおいて8月2日に開催します。今回から1日開催に変更し、第1部として「(仮称) 播磨の民俗芸能披露」、第2部として「(仮称) 柳田國男と現代」と題して式典、講演等を開催します。

これまで施設の開館時間に制約されていた公共施設の予約について、インターネットで予約が可能となる「公共施設予約システム」を導入します。

さて、今議会に提出いたします議案等につきましては、報告1件、議案29件の計30件です。

(略)

以上、報告が1件、議案は条例が13件、予算は補正予算、当初予算あわせて14件、その他2件の計29件、合計30件となっています。

詳細説明は、公営企業管理者ほか、担当課長が行いますので、ご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます、所信表明といたします。